

## ○報告事項に対する質問と回答

質問内容	回 答
令和元年度決算で保険給付費が増加している要因は何か。	透析治療やがんなどの高額医療費が増えたことによるものです。また、東日本台風の被災者に対する窓口の一部負担金の免除額が、保険給付費へ計上されていることも増加の要因となります。
令和元年度において、一人当たり医療費が伸びているが、その理由は何か。原因を分析することで今後の取り組みの参考となるのではないか。	令和元年度では、生活習慣病の割合は減少しているものの、透析治療やがんなどの高額医療費が増えたことにより医療費全体額が増え、保険給付費の増加につながったと考えられます。お示した数値は速報値ですので、今後、確定した値により、さらに詳細な分析を行い、今後の取り組みに活用します。
被保険者の減少や一人当たり医療費の減少が続くなか、令和2年度予算で保険給付費が増加した理由は。	平成28年度以降、減少傾向にあった一人当たり医療費は、令和元年度では増加に転じ、県内でも上位の伸び率となりました。今後も被保険者の減少は見込まれるものの、高齢者割合の増加や医療の高度化など医療費の増加要因も多いことから、令和2年度予算では保険給付費の増を見込みました。
ジェネリック医薬品の普及促進について	現在、ジェネリック医薬品の普及に向けた取り組みとして、利用差額通知の送付や、国保加入者に対する普及チラシなどの配布を行っています。また、令和元年度は、全国健康保険協会長野支部様との共催により、子どもの医療費に着目したセミナーの開催を予定していましたが、東日本台風により中止としました。他市に比べ普及率が低いことから、今後さらに効果的な取り組みに努めます。
新型コロナウイルス感染拡大防止の施策について	国民健康保険に関しては、郵送による各種手続きや、窓口へのアクリルパネル設置などの非接触化に対する取り組みを行っています。また、被保険者の方が、発熱等により感染が疑われる場合に、療養し感染を防ぐことを目的とした「傷病手当金制度」を創設しました。今後も感染拡大防止に向けた取り組みに努めます。

## ○報告事項等に対するご意見

- ・ 国民健康保険の制度改正についてはよく理解できなかった（報告第2号関連）
- ・ 低所得者に対する負担を軽減し、高所得者へ負担をお願いする内容の改正には賛成する。（報告第2号関連）
- ・ 脳血管死亡や心疾患死亡が減少したことは、保健行政の大きな成果だと思う（報告第4号関連）
- ・ ジェネリック医薬品の普及促進について、市の職員に対する啓蒙が必要（その他）